

第 6 関連部門

1 補装具製作施設

(1) 概要

補装具の作製を行っている。

また、普及・啓発、相談業務を行っている。

(2) 補装具の作製

「補装具製作施設」として、義肢装具士により、外来・入院患者の補装具の作製・修理・改良を行うほか、毎週、補装具外来で義肢・装具の評価、適合チェックや助言を行っている。

補装具製作等件数（令和 6 年度実績）

項 目	件 数
補装具の修理・修繕	255
補装具の試作	8
補装具の作製	52
更生相談の対応	703

2 研修・実習・見学・ボランティア

(1) センター主催研修の開催

ア 概要

当センターでは、県内の福祉・保健・医療関係者等を対象に障害者のリハビリテーションに関する情報を提供する場として次の研修・講座を実施している。

(ア) リハビリテーションテーマ別研修

リハビリテーションに関する専門的な内容について、福祉・保健・医療関係専門職員等を対象として実施する研修である。

(イ) 市町村等職員研修

(ウ) リハビリテーション講座

当センター以外のリハビリテーション関係機関が主催する研修に協力し、福祉・保健・医療関係の専門職員以外の人も対象に含む講座である。

イ 令和6年度事業実績

令和6年度は、令和5年度に引き続きすべての研修を県公式 YouTube チャンネルで配信した。

申込者数は延べ836名であった。

(ア) リハビリテーションテーマ別研修

研 修 名	配信期間	時間(分)	講 義 内 容	講 師
障害の理解と リハビリテーション 総論編 第1部・第2部 申 込 者 数 141名 総 再 生 回 数 549回 事前申込制・限定公開	6/18 ～ 1/31	45	リハビリテーション概論 疾患の理解と障害について	センター長 市川 忠 (医師)
		35	リハビリテーションにおける 臨床心理の基礎知識	臨床心理科 新井 陽子
		30	理学療法とは	理学療法科 小島 志保 (PT)
		20	作業療法とは	作業療法科 武舎 郁花 (OT)
		35	言語聴覚療法とは	言語聴覚科 野口 大輔 (ST)
		40	リハビリテーションに関わる 医療・福祉制度について	医療相談科 魚谷かおり (MSW)
		30	身体障害者手帳制度について	障害認定担当 杉原 領子
		30	障害者支援施設の利用について	サービス調整担当 森 芳子
		10	視覚障害者への支援	自立訓練担当 (視覚) 水田 靖土 (歩行訓練士)
		25	障害者の就労支援	就労移行支援担当 山本 雅史 (職業指導員)
		15	リハビリテーションとスポーツ	健康増進担当 碓田 智也 (体育指導員)
障害の理解と リハビリテーション 脳血管障害編 第1部・第2部 申 込 者 数 101名 総 再 生 回 数 408回 事前申込制・限定公開	7/18 ～ 1/31	50	脳血管障害の医学的基礎知識	診療部 堀 匠 (医師)
		30	脳血管障害に対する理学療法	理学療法科 越前谷 友樹 (PT)
		25	脳血管障害に対する作業療法	作業療法科 赤間 公一 (OT)
		50	脳血管障害に対する言語聴覚療法	言語聴覚科 野口 大輔 (ST)
		40	脳血管障害者のリハビリテーション看護	看護部 千葉 幸一 (脳卒中リハビリテーション看護CN)
		20	脳血管障害に対する栄養管理	栄養科 森實 亜貴子 (管理栄養士)
		40	脳血管障害者のための社会制度	医療相談科 魚谷かおり (MSW)

		20	障害者支援施設を利用しての社会復帰	自立訓練担当 西尾 尚倫（PT）
		20	脳血管障害の体力と健康づくり	健康増進担当 碓田 智也（体育指導員）
障害の理解と リハビリテーション 脊髄損傷編 申 込 者 数 65名 総 再 生 回 数 300回 事前申込制・限定公開	7/18 ～ 1/31	20	脊髄損傷の医学的基礎知識	診療部 請川 大（医師）
		25	脊髄損傷者の車椅子と移乗動作	理学療法科 武川 真弓（PT）
		25	脊髄損傷者の日常生活動作	作業療法科 矢部 恭子（OT）
		35	脊髄損傷者の在宅生活へ向けてのケアの 実際	看護部 松永 真紀（看護師）
		40	脊髄損傷者の生活環境整備	自立訓練担当 根岸 昌（OT）
		25	脊髄損傷者のスポーツ	健康増進担当 常見 恭子（体育指導員）
		障害の理解と リハビリテーション 神経難病編 申 込 者 数 158名 総 再 生 回 数 522回 事前申込制・限定公開	6/18 ～ 1/31	25
45	神経難病の理学療法			理学療法科 厚川 和哉（PT）
40	神経難病の作業療法			作業療法科 三枝 佳代（OT）
40	神経難病の嚥下障害			言語聴覚科 野口 大輔（ST）
障害の理解と リハビリテーション 高次脳機能障害編 第1部・第2部 申 込 者 数 174名 総 再 生 回 数 868回 事前申込制・限定公開	6/18 ～ 1/31			50
		50	高次脳機能障害への対応	神経・精神科 先崎 章（医師）
		55	神経心理学的理解と 認知リハビリテーション	臨床心理科 新井 陽子
		35	病院でのリハビリテーション	作業療法科 諏訪間 弘子（OT）
		35	高次脳機能障害者の看護	看護部 木村 亜矢子（脳卒中リハビリテーション看護CN）
		30	支援の実際と対応の工夫 ① 障害者支援施設での訓練と支援	自立訓練担当 井口 圭子（OT）
		40	支援の実際と対応の工夫 ② 就労支援	就労移行支援担当 山本 雅史
		25	支援の実際と対応の工夫 ③ スポーツを通じた支援	健康増進担当 免田 佳子（体育指導員）
		40	支援の実際と対応の工夫 ④ 相談支援	高次脳機能障害者支援センター 小松 友佳
障害のある方のための 口腔ケア 申 込 者 数 40名 総 再 生 回 数 60回 事前申込制・限定公開	9/3 ～ 1/31	20	障害のある方への口腔ケア	歯科診療科 永尾歯科診療部長（歯科医師）
		30	障害のある方への口腔ケア－脳卒中編－	歯科診療科 安藤 涼佳（歯科衛生士）
障害のある方のための 健康づくり講座 肥満対策編 申 込 者 数 38名 総 再 生 回 数 105回 事前申込制・限定公開	9/3 ～ 1/31	20	食事で肥満対策	栄養担当 森實 亜貴子（管理栄養士）
		25	運動で肥満対策	健康増進担当 免田 佳子（体育指導員）
		35	看護師の視点で肥満対策 ～通所利用者とかかわりから～	健康増進担当 西村 公江（看護師）

障害のある方のための 健康づくり講座 スポーツ施設編 申 込 者 数 20名 総 再 生 回 数 46回 事前申込制・限定公開	9/3 ～ 1/31	10	障害者にとってのスポーツ	健康増進担当 塚越 和巳（体育指導員）
		10	障害の基礎知識	健康増進担当 常見 恭子（体育指導員）
		10	利用前・利用開始時のポイント	健康増進担当 免田 佳子（体育指導員）
		10	施設における配慮	健康増進担当 塚越 和巳（体育指導員）
		15	障害の理解と必要な配慮（視覚障害）	健康増進担当 常見 恭子（体育指導員）
		15	障害の理解と必要な配慮（肢体不自由）	健康増進担当 免田 佳子（体育指導員）
		10	障害の理解と必要な配慮（聴覚障害）	健康増進担当 塚越 和巳（体育指導員）
		15	障害の理解と必要な配慮 （知的障害、精神障害、高次脳機能障害など）	健康増進担当 碓田 智也（体育指導員）
		10	インシデント事例集	健康増進担当 碓田 智也（体育指導員）
		35	当事者との対談	健康増進担当 塚越 和巳（体育指導員）
障害のある方のための 福祉用具の有効活用 肢体不自由・ 視覚障害者関連 申 込 者 数 33名 総 再 生 回 数 270回 事前申込制・限定公開	9/3 ～ 1/31	35	福祉用具と住環境に関わる社会制度	医療相談科 魚谷かおり（MSW）
		15	視覚障害者の福祉用具	自立訓練担当（視覚） 木下 亮（歩行訓練士）
		20	下肢装具の基本的な知識と活用方法	理学療法科 田島 匠（PT）
		40	在宅生活に向けた環境調整	作業療法科 竹見 千里（OT）
		30	移動用具・移乗用具	理学療法科、自立訓練担当 石崎 耕平、武川 真弓（PT）
		35	車椅子作製手順	理学療法科 石井 佑穂
高次脳機能障害者の 暮らしを支えるために 家族支援編 申 込 者 数 66名 総 再 生 回 数 206回 事前申込制・限定公開	9/3 ～ 1/31	25	高次脳機能障害の基本的理解	高次脳機能障害者支援センター 小松 友佳
		70	家族もみてきた精神科医の立場から家族 がつかれすぎないために～家族支援編～	神経・精神科 先崎 章（医師）

（イ）市町村等職員研修

研 修 名	配信期間	時間(分)	講 義 内 容	講 師
身体障害者福祉担当 新任職員研修 申込者数 114 名 事前申込制・限定公開	7/1 ～ 7/26	50	○補装具費支給制度の概要について ○肢体不自由者の更生相談について	身体障害担当
		45	車椅子についての知識を深める	身体障害担当（理学療法士）
		25	重度障害者用意思伝達装置について	身体障害担当
		30	義肢装具の必要な名称と知識	身体障害担当（義肢装具士）
		20	聴覚障害者の補装具判定について	身体障害担当
		10	視覚障害者の補装具	身体障害担当
		30	自立支援医療（更生医療）について	身体障害担当
		15	身体障害者関係指定障害者支援施設等の入 所調整について	身体障害担当
		書面	身体状況を説明する際に出てくる用語	身体障害担当

知的障害者福祉担当 新任職員研修会 申込者数 112 名 事前申込制・限定公開	5/13 ～ 6/7	30	療育手帳制度について	障害認定担当
		20	知的障害者更生相談 ① 更生相談概要について	知的障害・心理判定担当
		20	知的障害者更生相談 ② 判定依頼書について	知的障害・心理判定担当
		30	知的障害者の心理判定について	知的障害・心理判定担当
		20	知的障害者関係指定障害者支援施設等の入所調整について	知的障害・心理判定担当
		20	市町村の知的障害者福祉の現場から	外部講師（秩父市障がい者福祉課）
知的障害者福祉担当 （新任職員研修再開） 申込者数 26 名 事前申込制・限定公開	10/28 ～ 11/29	30	療育手帳制度について	障害認定担当
		20	知的障害者更生相談 ① 更生相談概要について	知的障害・心理判定担当
		20	知的障害者更生相談 ② 判定依頼書について	知的障害・心理判定担当
		30	知的障害者の心理判定について	知的障害・心理判定担当
		20	知的障害者関係指定障害者支援施設等の入所調整について	知的障害・心理判定担当
		20	市町村の知的障害者福祉の現場から	外部講師（秩父市障がい者福祉課）

※PT：理学療法士 OT：作業療法士 ST：言語聴覚士 MSW：医療ソーシャルワーカー
 CN：認定看護師
 ※機関名は外部講師のみ記載

（ウ） リハビリテーション講座

研 修 名	配信期間	時間(分)	講 義 内 容	講 師
夏休みボランティア 体験プログラム （上尾市社会福祉協議会主催） 申込者数 4名	8/5	60	オリエンテーション センター紹介ビデオ	職員・企画担当
		20	入所施設見学等視覚障害者ガイド体験	生活支援担当
		100	生活トレ同行・リフター体験・昼食準備等	生活支援担当
		90	車椅子・装具・介助方法説明・車椅子体験	生活支援担当
		60	視覚障害者ガイド体験	自立訓練担当

ウ 令和7年度事業計画

令和7年度は、センター主催研修を8コース15講座に再編し実施する予定である。

(ア) リハビリテーションテーマ別研修

研 修 名		研 修 内 容	配信 予定日	研 修 対 象 者
1. 障害の理解とリハビリテーション	総論編	身体障害およびリハビリテーションの基礎的な知識について	6月末頃	身体障害者への支援に初めて関わる職員等
	脳血管障害編	脳卒中の後遺症による障害のある人のQOLの維持・向上につなげるための、基礎的な知識について	6月末頃	脳卒中の後遺症による障害のある人に関わっている職員等
	脊髄損傷編	脊髄損傷患者のQOLの維持・向上につなげるための、基礎的な知識について	7月中	脊髄損傷の後遺症による障害のある人に関わっている職員等
	神経難病編	障害を伴う神経難病患者のQOLの維持・向上につなげるための、基礎的な知識について	7月中	神経難病患者に関わっている職員等
	高次脳機能障害編	脳卒中や脳外傷等の脳損傷後に出現する高次脳機能障害の基礎的な知識や対応方法について	7月中	高次脳機能障害者に関わりのある職員等
2. 口腔ケア	障害のある方のための口腔ケア	障害者の口腔ケアに関する、実技を交えた、基礎的な知識について	8月頃	障害者施設等の職員等
3. 方々のための健康づくり講座	肥満対策編	障害者の肥満対策に関して	8月頃	障害者施設等の職員等

	スポーツ施設編	スポーツ施設職員が障害者に対応する際に知っておきたい知識・技術について	8月頃	スポーツ施設の職員等
4. の福祉用具の有効活用	肢体不自由、視覚障害者関連	地域や施設で暮らす障害者のＱＯＬの維持・向上につなげるための情報提供や体験実習	9月頃	地域や施設で暮らす障害者と日常関わりのある職員等
5. 暮らしを支えるために	家族支援編	高次脳機能障害者の特性をふまえた本人及び家族への支援について	9月頃	高次脳機能障害者に関わりのある職員等

(イ) 市町村等職員研修

研 修 名		研 修 目 的	配信 予定	研 修 対 象 者
1. 身体障害者福祉担当者研修	身体障害者福祉担当 新任職員研修会	新任職員を対象として、必要な基礎的知識の習得を図り、業務の円滑な遂行に資する	5/7 ～ 5/21	新任の市町村身体障害者福祉担当職員
	身体障害者福祉担当 職員研修会	身体障害者福祉担当者として現場で必要とされる内容について、講義・事例検討などを通じて現場担当者の資質向上を図る	秋頃	市町村身体障害者福祉担当職員
	知的障害者福祉担当 職員研修会	新任職員を対象として、担当者として必要な基礎的知識の習得を図り、業務の円滑な遂行に資する	5/12～ 6/6	新任の市町村知的障害者福祉担当職員等

2. 者 者 知的障害 研 福 社 修 祉 担 当 当	知的障害者福祉担当 職員研修会	地域生活支援にかかるト ピック的な研修を実施し、 市町村等での相談支援業 務の推進に資する	秋頃	市町村知的障害者福祉担 当職員等
---	--------------------	--	----	---------------------

(ウ) リハビリテーション講座

研 修 名	研 修 目 的	実施 予定	定員 (名)	研 修 対 象 者	備考
夏休みボランティア 体験プログラム	ボランティアとして必要 な障害についての知識、 基本的な介助法を体験す る	8/5 (火)	2～4 名	中学生・高校生・ 大学生・社会人	上尾市 社協 主催

(2) オンラインセミナーの開催

当センターでは、県内医療・福祉関係者の支援及びセンター医療機能の周知のため、医療・福祉関係者向けのオンラインセミナー「ランチタイムWEBセミナー」を開催している。講師は当センターの医師等で、昼の12時15分から12時45分までのランチタイムの時間に実施している。構成は、講義約20分、質疑応答約10分である。

令和6年度ランチタイムWEBセミナー開催実績

開催日	タイトル	講師	参加 人数
令和6年5月22日	パーキンソン病治療の基本 L-Dopa製剤の効果と副作用	脳神経内科医師 市川 忠	109
令和6年7月3日	パーキンソン病短期集中リハビリテーション ～訓練の内容と効果～	理学療法科 水田 宗達	95
令和6年9月13日	アルツハイマー病新薬「レカネマブ」による治 療提供状況	脳神経内科医師 市川 忠	101
令和6年10月29日	パーキンソン病患者に対するリハビリテーシ ョン（作業療法）	作業療法科 土佐 圭子	58
令和6年11月11日	カテーテル関連尿路感染予防対策のポイント	感染管理認定看護師 新田 紀江	29
令和6年12月19日	脳卒中患者・家族のQOL向上を目指して	脳卒中リハビリテーシ ョン看護認定看護師 木村 亜矢子	22
令和7年2月6日	アルツハイマー病新薬「レカネマブ」「ドナネ マブ」について	脳神経内科医師 市川 忠	76
令和7年3月19日	進行性パーキンソン病に対する薬剤デバイス 補助療法～デュオドーパ®及びヴィアレブ®～	脳神経内科医師 橋本 祐二	58

(3) 実習生の受入れ

当センターでは、障害者等のリハビリテーションに関する専門的知識及び技能等を習得させることを目的として、センター外の福祉・医療関係者等を実習生として受け入れている。

令和6年度に受け入れた実習生の実人数は134名、延べ人数は1,437名であった。内訳は次のとおりである。

ア 所属別内訳

研修生の 所属機関 受入科		リハビリテーション関係職員養成機関								リハ病院		施設 関係者		行政関係機関						社団法人		合計	
		大学・大学 院		短大		専門学校		その他						埼玉県の機 関		国・他県の 機関		県内市町村 の機関					
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1	相談部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	福祉工学担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	生活支援担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	健康増進担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	医療相談科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	薬剤科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	栄養科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	臨床心理科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	歯科診療部	1	29	1	6	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	46
10	理学療法科	10	12	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	16
11	作業療法科	10	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	11
12	言語聴覚科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2
13	看護部	0	0	0	0	5	25	0	0	0	0	0	0	4	30	2	4	0	0	0	0	11	59
合計(実件数 ・実人数)		22	53	1	6	10	40	0	0	0	0	0	0	4	30	3	5	0	0	0	0	40	134

イ 所属・期間別内訳

	学 校 名 等	受入れ セクション	実習 生実 人数	開始日	終了日	実習 実施 日数	実習 延べ 人数
1	埼玉県立大学	歯科診療部	29	R6. 04. 15 (月)	R6. 06. 28 (金)	40	116
2	東京歯科衛生専門学校	歯科診療部	11	R6. 07. 01 (月)	R6. 10. 30 (水)	30	64
3	日本歯科大学東京短期大学	歯科診療部	6	R6. 07. 16 (火)	R6. 07. 24 (水)	6	36
4	葵メディカルアカデミー	理学療法科	1	R6. 10. 07 (月)	R6. 11. 15 (金)	28	28
5	上尾中央医療専門学校	理学療法科	1	R6. 05. 20 (月)	R6. 07. 05 (金)	35	35
6	医学アカデミー	理学療法科	1	R7. 01. 20 (月)	R7. 03. 07 (金)	33	33
7	埼玉医療福祉専門学校	理学療法科	1	R6. 05. 13 (月)	R6. 06. 21 (金)	30	30
8	埼玉医科大学	理学療法科	1	R6. 06. 03 (月)	R6. 07. 19 (金)	30	30
9	埼玉県立大学	理学療法科	2	R6. 09. 24 (火)	R6. 10. 25 (金)	23	23
10	埼玉県立大学	理学療法科	1	R7. 02. 17 (月)	R7. 02. 28 (金)	10	20
11	順天堂大学	理学療法科	1	R6. 11. 11 (月)	R6. 12. 13 (金)	25	25
12	東京国際大学	理学療法科	1	R7. 01. 27 (月)	R7. 02. 21 (金)	19	19
13	日本医療科学大学	理学療法科	1	R6. 09. 30 (月)	R6. 11. 08 (金)	28	28
14	日本保健医療大学	理学療法科	1	R6. 09. 24 (火)	R6. 10. 18 (金)	18	18
15	人間総合科学大学	理学療法科	2	R6. 09. 02 (月)	R6. 09. 06 (金)	5	10
16	文京学院大学	理学療法科	1	R7. 01. 14 (火)	R7. 02. 14 (金)	23	23
17	目白大学	理学療法科	1	R7. 02. 03 (月)	R7. 02. 28 (金)	18	18
18	埼玉県立大学	作業療法科	1	R6. 06. 03 (月)	R6. 07. 19 (金)	37	37
19	埼玉県立大学	作業療法科	1	R7. 02. 17 (月)	R7. 03. 07 (金)	15	15
20	東京家政大学	作業療法科	1	R6. 04. 15 (月)	R6. 06. 07 (金)	39	39
21	東京家政大学	作業療法科	1	R7. 01. 14 (火)	R7. 03. 07 (金)	37	37
22	東京都立大学	作業療法科	1	R6. 09. 30 (月)	R6. 12. 14 (土)	49	49
23	東京保健医療専門職大学	作業療法科	1	R6. 04. 15 (月)	R6. 06. 07 (金)	33	33
24	東京保健医療専門職大学	作業療法科	1	R7. 02. 10 (月)	R7. 02. 21 (金)	9	9
25	日本医療科学大学	作業療法科	2	R6. 08. 05 (月)	R6. 08. 30 (金)	23	46
26	文京学院大学	作業療法科	1	R6. 06. 03 (月)	R6. 07. 19 (金)	34	34
27	文京学院大学	作業療法科	1	R7. 01. 20 (月)	R7. 02. 14 (金)	20	20
28	国立障害者リハビリテーションセンター学院	言語聴覚科	1	R6. 06. 03 (月)	R6. 06. 28 (金)	20	20
29	群馬パース大学	言語聴覚科	1	R6. 11. 11 (月)	R6. 12. 13 (金)	25	25
30	幸手看護専門学校	看護部	5	R6. 11. 12 (火)	R6. 11. 28 (木)	10	50
31	幸手看護専門学校	看護部	3	R7. 02. 18 (火)	R7. 03. 05 (水)	8	24
32	埼玉県立高等看護学院	看護部	10	R6. 05. 14 (火)	R6. 05. 24 (金)	8	78
33	埼玉県立高等看護学院	看護部	10	R6. 09. 25 (水)	R6. 10. 10 (木)	10	98
34	埼玉県立高等看護学院	看護部	9	R6. 10. 16 (水)	R6. 10. 30 (水)	9	81
35	国立障害者リハビリテーションセンター学院	看護部	2	R6. 12. 02 (月)	R6. 12. 18 (水)	11	22
36	国立障害者リハビリテーションセンター学院	看護部	2	R7. 01. 07 (火)	R7. 01. 24 (金)	11	22
37	上尾看護専門学校	看護部	5	R6. 11. 19 (火)	R6. 11. 20 (水)	2	10
38	上尾看護専門学校	看護部	6	R6. 12. 09 (月)	R6. 12. 25 (水)	11	65
39	上尾看護専門学校	看護部	6	R6. 12. 09 (月)	R6. 12. 25 (水)	11	66
40	さいたま赤十字病院	看護部	1	R6. 09. 11 (水)	R6. 09. 11 (水)	1	1
合計			134			834	1,437

(4) 見学者の状況

当センターでは、障害者のリハビリテーションの理解促進のため、センター外の福祉・医療関係者を中心に、見学者を受け入れている。

令和6年度は、見学件数は10件、見学者数は318人であった。内訳は次のとおりである。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成機関	件			1	2	2	2		1				1	9
	人			2	89	148	17		24				32	312
その他医療職、福祉職養成機関	件													
	人													
病院等医療機関	件									1				1
	人									6				6
障害者支援施設等福祉関係機関	件													
	人													
特別支援学校等教育機関	件													
	人													
医療・福祉等行政機関	件													
	人													
医療・福祉関係団体	件													
	人													
自治会・民生委員・ボランティア団体等	件													
	人													
海外の機関	件													
	人													
その他	件													
	人													
合計	件	0	0	1	2	2	2	0	1	1	0	0	1	10
	人	0	0	2	89	148	17	0	24	6	0	0	32	318